

【競技部】平成27年度 活動報告および今後の取り組み

■ リーグ戦での取り組み

①パート代表を中心に、各チームにて会場の確保を行った。

<経緯>

- ・ 前年度まではパート代表が会場探しを行っていたが、確保が難しかった。
- ・ 年間予約をしている会場に対し、距離が遠いと苦情がでていた。
- ・ 今まで体育館の使用状況が悪く、体育館管理者からの苦情が多かった。

<結果>

- ・ 各パートのチーム毎に体育館を探すことで、会場確保の「苦労の共有」と「負担の分担」ができ、各体育館のルールを守ることにもつながったため、管理者からの苦情も減った。
- ・ 会場確保の確定時期が試合の間近になることもあった。

<今後の取り組み>

- ・ 継続して各チームにて会場確保を行い負担の分担を行う。
- ・ 会場予約名：例) 宮崎県クラブバスケットボール連盟 男子 2部Aパート
- ・ また年間予約も会場確保に有効な手段として活用する。

②公認審判員（審判ライセンス）のチーム内育成を促した。

<経緯>

- ・ 審判の技術力に対する苦情が多く、試合が荒れる原因となることもあった。
- ・ 審判、プレイヤーともにルールに関する認識が薄く、そのことでトラブルも生じていた。

<結果>

- ・ 数チームではあるが、公認審判員の審査に挑戦し、チームメイトという身近な存在が、公認審判員というルールと審判技術に精通した人物になった。このことによりチーム内のプレイヤー全体にルール改正や審判技術の伝達がなされる環境が整った。

<今後の取り組み（審判部との相互協力のもと）>

- ・ 日本バスケットボール協会組織改変での、審判ライセンス統一に伴い、審判ライセンスのチーム内所持の基準を改める検討中。

[審判ライセンス統一] 呼称が『日本公認〇級』となる。

旧	AA	A	日本公認	県公認	各カテゴリー公認	初心者、未経験者
統一後	S級	A級	B級	C級	D級	E級（要登録）

■ クラブ連盟主管大会

- ・ 選抜大会
- ・ クラブカップ

■ 協会主管大会

- ・ 総合選手権大会、および同九州大会
- ・ 3×3 [スリーバイスリー] ……等、各種大会運営補助、機材協力